

事 業 評 価 書

補助事業名	白老弾薬支処関連公共用施設（教育文化施設：中学校コンピュータ教室パソコン更新）整備事業						
補助事業者名	白老町						
実施場所	白老町立白老中学校（北海道白老郡白老町東町5丁目3番1号） 白老町立白翔中学校（北海道白老郡白老町字萩野286番地）						
補助事業の成果の目標	老朽化した学校コンピュータ教室の端末をタブレット端末に更新し、新たな学習指導要領に対応したICT授業を実施する。						
補助事業の内容	タブレット端末77台ほか						
補助事業の始期及び終期	全 体：令和元年度～令和2年度 本年度：令和元年9月～令和2年1月						
事業費及び交付金額		平成30年度	令和元年度	令和2年度 予定	令和3年度 予定	令和4年度 予定	計
	事業費	円	円 16,115,000	円 22,550,000	円	円	円 38,665,000
	交付金額	円	円 15,000,000	円 20,000,000	円	円	円 35,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>教師への聞き取りの結果、タブレット端末の導入により普通教室でのICT授業も可能になり、新学習指導要領に対応した学習環境の充実が図られたとの評価が得られた。</p> <p>なお、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業であることを町ホームページ及び町広報誌（令和2年5月号）に掲載し、周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	タブレット機器に関連する周辺機器等を計画的に整備し、学習環境の更なる充実を図る。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	なし						

## 事業評価書

補助事業名	白老弾薬支処関連公共用施設（教育文化施設：中央公民館受電設備改修）整備事業						
補助事業者名	白老町						
実施場所	白老町中央公民館（北海道白老郡白老町本町1丁目）						
補助事業の成果の目標	中央公民館の屋外受電設備が設置後30年経過し、経年劣化により遮断器の機能が損なわれていることから、設備の改修を行い、施設の適切な運営に資する。						
補助事業の内容	中央公民館受電設備改修工事 一式						
補助事業の始期及び終期	令和元年10月～令和元年12月						
事業費及び交付金額		平成30年度	令和元年度	令和2年度 予定	令和3年度 予定	令和4年度 予定	計
	事業費	円	円 3,773,000	円	円	円	円 3,773,000
	交付金額		3,500,000				3,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	改修工事完了後の管理者の聞き取りでは、「安心して貸館を行えるようになった」「事故発生時に適切な対応ができるようになった」との声が聞かれた。 また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金であることを町ホームページ等に掲載し町民への周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	改修した受電設備について、適切な維持管理を継続する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事 業 評 価 書

補助事業名	白老弾薬支処関連公共用施設(環境衛生施設:白老町火葬場火葬炉改修)整備事業						
補助事業者名	白老町						
実施場所	白老葬苑(北海道白老郡白老町字白老820番地1)						
補助事業の成果の目標	安定的かつ円滑な火葬業務を遂行するため、火葬炉の改修を行う。						
補助事業の内容	火葬炉改修工事 一式						
補助事業の始期及び終期	全 体:平成30年度～令和元年度 本年度:令和元年11月～令和2年3月						
事業費及び交付金額		平成30年度	令和元年度	令和2年度 予定	令和3年度 予定	令和4年度 予定	計
	事業費	円 1,998,000	円 4,070,000	円	円	円	円 6,068,000
	交付金額	1,900,000	3,700,000				5,600,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>火葬炉の改修工事を行ったことで、施設管理担当者から「支障なく火葬業務が行えている」といった評価が得られ、安定的かつ円滑な火葬業務のできる環境の整備がされた。</p> <p>また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金であることを町ホームページ、町広報に掲載し町民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	施設の適切な維持管理に努める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

## 事業評価書

補助事業名	白老弾薬支処関連公共用施設（消防に関する施設：消防団資器材購入）整備事業																						
補助事業者名	白老町																						
実施場所	白老町消防団 社台分団（白老町字社台58番地の18） 白老町消防団 虎杖浜分団（白老町字虎杖浜74番地の11）																						
補助事業の成果の目標	地域防災力の中核となる消防団の安全確保及び大規模災害時の活動に対応するため、消防団の救助用資機材等の充実強化を図り、住民の安全に資することを目的とする。																						
補助事業の内容	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">投光器</td> <td style="width: 16.5%;">2セット</td> <td style="width: 33%;">携帯型破壊工具</td> <td style="width: 16.5%;">2セット</td> </tr> <tr> <td>手動式コンピツール</td> <td>2台</td> <td>エンジンカッター</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>エンジンチェンソー</td> <td>2台</td> <td>防火衣</td> <td>8セット</td> </tr> <tr> <td>拡声器</td> <td>2台</td> <td>活動用携帯照明器具</td> <td>8台</td> </tr> </table>							投光器	2セット	携帯型破壊工具	2セット	手動式コンピツール	2台	エンジンカッター	2台	エンジンチェンソー	2台	防火衣	8セット	拡声器	2台	活動用携帯照明器具	8台
投光器	2セット	携帯型破壊工具	2セット																				
手動式コンピツール	2台	エンジンカッター	2台																				
エンジンチェンソー	2台	防火衣	8セット																				
拡声器	2台	活動用携帯照明器具	8台																				
補助事業の始期及び終期	全体：平成29年度～令和元年度 本年度：令和2年1月～令和2年3月																						
事業費及び交付金額		平成30年度 まで	令和元年度	令和2年度 予定	令和3年度 予定	令和4年度 予定	計																
	事業費	円 8,132,400	円 5,522,000	円	円	円	円 13,654,400																
	交付金額	7,500,000	5,000,000				12,500,000																
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業の実施後、団員からは「大型投光器が整備されたことで夜間の活動がしやすくなった」「新たな救助資器材が配備され活動の幅が広がった」「白老町消防団として全分団に統一された資器材が整備され、連携強化に繋がった」といった評価が得られ、住民の安心、安全な生活の維持に資する環境の整備が図られた。</p> <p>また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を町広報誌及び町ホームページに掲載し、周辺住民に周知を図った。</p>																						
事業の改善措置及び今後の対応	地域住民の安全に資するよう、消防団資器材の充実強化を推進するとともに、引き続き災害救助技術の習得に努める。																						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無																						

## 事業評価書

補助事業名	白老弾薬支処関連公共用施設（消防に関する施設：消防用資器材購入）整備事業						
補助事業者名	白老町						
実施場所	白老町消防本部（白老町字石山20-24）						
補助事業の成果の目標	消防職員が火災や救助現場などにおいて、安全、的確に活動できるように消防用資器材の更新、充実強化を図り、住民の安全に資することを目的とする。						
補助事業の内容	消防用ホース 40本                      簡易ポンププロポーションナー 1個 ガンタイプノズル 2個                  Vフォームガン 1個 ホースバッグ 2個                      トランシーバー 4台						
補助事業の始期及び終期	全体：平成28年度～令和2年度 本年度：令和2年1月～令和2年3月						
事業費及び交付金額		平成30年度 まで	令和元年度	令和2年度 予定	令和3年度 予定	令和4年度 予定	計
	事業費	円 14,761,440	円 2,810,500	円 1,870,000	円	円	円 19,441,940
	交付金額	13,158,000	2,387,000	1,600,000			17,145,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業実施後の取扱訓練において、簡易ポンププロポーションナーやガンタイプノズル、Vフォームガンは火災防ぎょにおいて低圧力で泡による放水が可能な事から焼損の拡大防止に大変有効であることを確認した。また職員の聞き取りにおいてもホースバッグやトランシーバーの整備により、効率の良い災害活動や活動隊の情報共有が可能といった評価を得られ、地域住民の安心安全な生活の維持に資する環境が整備された。 なお、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを町広報誌5月号及び町ホームページに掲載し、町民に周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も住民の安心、安全を確保するため継続的に消防用資器材の購入を進める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						